

千代田中学校だより  
**自ら一步前へ**

平成30年5月17日  
第5号  
校長 山田正彦

一人ひとりが輝き  
笑顔と感動があふれる学校

## ほんまにようやった!



絶好の五月晴れ、そして新緑とたくさんのご来賓の皆様や保護者・地域の皆様方に囲まれたグラウンド。君たちが活躍するステージが、カンパキに整いはじめまった体育祭。そのステージにふさわしい君たちの入場行進をする姿を朝礼台の上から見ながら、私のワクワク感はいっきに高まりました。



今年新たに取組んだ集団行動では、最後の「写真ポーズ」にはサービス精神（保護者の方へのありがたいの気持ち）も感じられました。そして、100mや学年種目・リレー等競技が続いていきました。男子100mでは3年生の「ギャグ!」もあり、真剣に一生懸命頑張る姿に加え、自ら楽しむ姿もあったのも良かったです。

そして、各団が一番力を入れて練習してきた応援合戦や最後のソーランは、さすが中学生だなと改めて感じました。応援合戦は、私自身意識して本番まではあまり見ないようにしてきました。どちらの団も、声の大きさ、ダンスの振り付けや動き



のキレ、表情などを意識して練習してきた成果を、本番では思う存分発揮でき

たのではと、見ていて強く感じました。団長やリーダーさんたちは、どうやったらより良い演技ができるか、どのように伝えたら後輩達が頑張ってくれるかなど、いくつもの壁があったことでしょう。それをしっかりと仲間と協力して乗り越えてきたんだと、3年生のたくましさも感じました。



最後の「千代田中ソーラン」では、全校生徒がまさに「一蓮托生」の思いを、全身を使って表現していましたね。2・3年生の力強さに、1年生もおいつこうという思いを、しっかりと表現できていたと感じました。



君たち全員が「心を一つに精一杯力を出し切る。千代中生全員の絆を深める」その姿をしっかりと見とれた一日になりました。「体育祭を楽しみにしています」と前もって皆さんに伝えていましたが、心の底から楽しめた体育祭。君たちから感動をいただくことができた体育祭でした。君たち全員に「ほんまにようやった!」と伝えます。

最後に、体育祭の個人目標を全員が振り返りました。できたことを自信に、次への再スタートを切りましょう。

ちなみに、次は「中間テスト」かな。